

平成24年度第3回千葉県図書館協議会次第

日 時 平成25年3月22日（金）  
午後2時から  
場 所 千葉県立中央図書館 講堂

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 報告事項

報告1 「図書館利用規則」及び「教育機関組織規則」の一部改正について

報告2 平成24年度千葉県立図書館運営状況について

報告3 その他

(2) 協議事項

協議1 「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画（案）について

協議2 平成25年度県立図書館事業計画（案）について

協議3 その他

(3) その他

4 その他

5 閉 会

## 図書館利用規則の一部を改正する規則の制定について

### 1 趣 旨

県立図書館の利用者サービス向上のため、現在の休館日の規定を見直し、開館日を増やすことができるよう「図書館利用規則」の一部改正を行う。

### 2 現行の休館日

・定期休館日	月曜日（休日の場合は開館・翌日以降の平日に振替）
・年末・年始	12月28日から1月4日まで
・館内整理日	毎月の第3金曜日（休日の場合は開館・前日以前の平日に振替）
・特別整理期間	春秋それぞれ10日以内で館長が定める日
・臨時休館日	特別の事情により、館長が休館を必要と認めた日

### 3 改正内容

#### (1) 休館期間の短縮

休館日のうち図書の点検・整理等のために休館する「特別整理期間」を、「春秋それぞれ10日以内」から「一年を通じ10日以内」に改め、これまでの半分に短縮する。

#### (2) 新たな開館規定の追加

休館日であっても、館長が特に必要と認めた場合には開館する旨の規定を新たに追加し、県民の利用状況に応じ、開館することができるようにする。

### 4 施行期日

平成25年4月1日

### 5 平成25年度計画

開館日数 292日

#### (1) 特別整理期間（年1回）

平成26年2月18日（火）から25日（火）までの8日間

#### (2) 開館規定追加による開館

ア 館内整理日（7月、8月、9月、3月の各月第3金曜日）

イ 12月28日（年末休館）

<参考> 開館日数比較（平成24年度）

東京都	神奈川県	埼玉県	群馬県	茨城県	栃木県	千葉県	全国平均
334日	296日	291日	291日	291日	286日	279日	288日

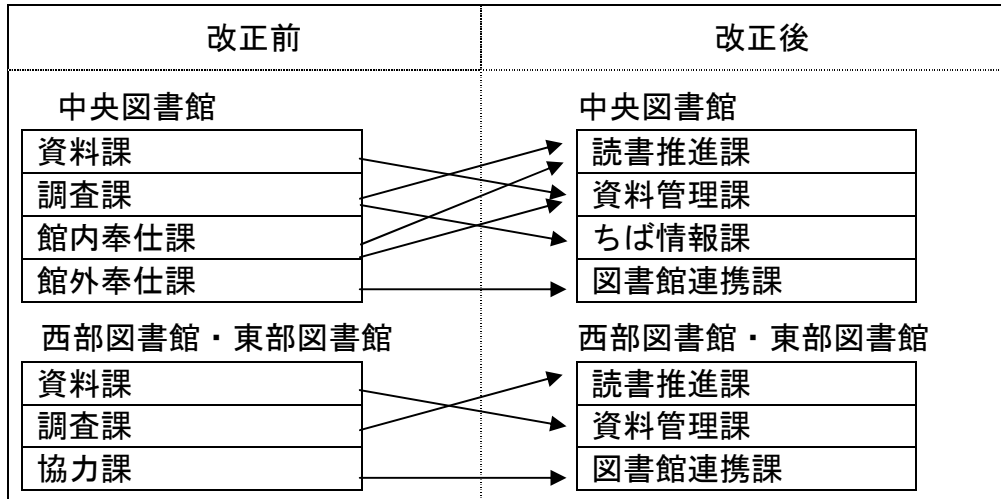
(23年度)

## 千葉県立図書館の組織名称の一部改正について

千葉県立中央図書館、千葉県立西部図書館及び千葉県立東部図書館では、「千葉県立図書館の今後の在り方」（平成23年12月千葉県教育委員会策定）に沿い、千葉県の読書活動を積極的に推進していく体制を構築するために、平成25年4月1日から下記のとおり組織の一部改正を行います。

## 記

## 1 改正内容



## 2 業務概要

## (1) 中央図書館

庶務課（庶務、サービス、財務、管理、文書）

読書推進課（読書活動推進、参考調査、児童サービス、障害者サービス）

資料管理課（資料の収集、受入、整理、保管、電算）

ちば情報課（千葉県関係資料・情報、新聞雑誌）

図書館連携課（相互協力、図書館運営相談、未設置市町村支援）

## (2) 西部図書館

庶務課（庶務、サービス、財務、管理、文書）

読書推進課（読書活動推進、参考調査、障害者サービス）

資料管理課（資料の収集、受入、整理、保管、電算）

図書館連携課（相互協力、図書館運営相談）

## (3) 東部図書館

庶務課（庶務、サービス、財務、管理、文書）

読書推進課（読書活動推進、参考調査、障害者サービス）

資料管理課（資料の収集、受入、整理、保管、電算）

図書館連携課（相互協力、図書館運営相談、未設置市町村支援）

## 3 施行期日

平成25年4月1日

(概要説明)

## 「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画(案)について

平成24年度第2回千葉県図書館協議会(平成24年12月14日開催)にて協議をいただいた「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画(素案)での御意見等を踏まえ、現状及び表現方法等を勘案しながら、内容について再度見直し、次の観点から追加・修正を行った。

- 1 重点事業(資料p2～6、26項目)のうち特に重要・喫緊の課題に取り組むべき事業を精査して、「最重点事業」(13項目)として設定した。

※ 「最重点事業」が分かりやすいように「行動計画内容」、「年度別行動計画表」(p8)の該当項目を「○印」及び「黄色」で示した。

- 2 「行動計画内容」(p2～6)の「現状」と「課題」を再度整理して、分かりやすい表現と、実施時期を含めた「行動計画」の見直しを行った。

## 「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画(案)

千葉県立中央図書館  
千葉県立西部図書館  
千葉県立東部図書館

## 1 はじめに ―行動計画策定の趣旨―

「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるという公立図書館の基本理念を実現するため、千葉県立中央図書館、千葉県立西部図書館及び千葉県立東部図書館（以下「県立図書館」という。）は、県民に身近な市町村立図書館等が行うサービスを様々な形で支援し、県内全体の図書館サービスの向上を図っています。

また、県教育委員会では、平成6年に策定した「千葉県立図書館基本構想」以降、子どもの読書活動やIT化の推進、県民・地域の課題に対応した図書館サービスなど、図書館に求められている役割が大きく変化していることなどから、平成23年12月、これからの時代にふさわしい「千葉県立図書館の今後の在り方」（以下「在り方」という。）を策定しました。

この在り方第3章「これからの千葉県立図書館」では、県民の生涯にわたる多様な学習要求に応えるとともに、県民が県内のどこに住んでいても等しく図書館サービスが受けられるよう、市町村立図書館等と連携・協力して、読書環境の整備に努めることなどを「基本理念」とし、「県立図書館の役割と機能」（5項目）とともに、第3節「今後の図書館経営・施設整備の方向性」を掲げました。

そこで、県立図書館は、「これからの千葉県立図書館」を確実に実現するため、今後5年間の具体的な「行動計画」が必須であると考え、今後、重点的に取り組むべき事業についての行動計画を策定することとしました。

## 2 行動計画の実施期間

概ね5年間とします。

## 3 行動計画の評価と検証

今後の行動の取組については、「行動計画」を基にして、毎年度、「事業実施計画」を示すこととします。また、「数値項目」については3年後の「達成目標」を設定して「図書館サービス指標」とし、その達成状況を「毎年度実施結果」とともに自己点検や評価を行い、継続的に改善を図っていきます。さらに、行動計画の評価と検証を行い、検討・改善に努めるとともに、在り方の見直しを行う際の検証材料として活かしていきます。

## 4 行動計画の実施 ～6つのアクションと重点項目～

行動計画の実施に当たり、「在り方」における第2節「県立図書館の役割と機能」（5項目）及び第3節「今後の図書館経営・施設整備の方向性」を、6つのアクションとしました。

6つのアクションでは、平成29年度までに推進・解決すべき必要性の高い12項目を取り上げて「重点項目」としました。

重点事業では、現状と課題を明らかにして、その課題に対する行動計画と取組、その取組に関連した「数値目標」を設定しました。また、重点事業のうち、特に重要・喫緊に取り組むべき事業を「最重点事業」として設定しました。

## &lt;6つのアクションと重点項目&gt;

- 1 市町村立図書館充実のための支援強化
  - (1) 県内図書館ネットワークの中核的機能の強化
  - (2) 新しい図書館サービス実施のための職員研修プログラムの開発・実施
- 2 未来を担う子どもの読書活動の推進
  - (1) 子どもの読書活動推進のセンター館機能の強化
  - (2) 学校図書館との連携・支援
- 3 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及
  - (1) 県民の課題解決に対する支援
  - (2) 高齢者・障害者サービス等
- 4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承
  - (1) 千葉県関係資料の網羅的収集、提供、保存
  - (2) 関係機関と連携した地域デジタル情報の収集・発信
- 5 社会の変化に対応した図書館サービスの推進
  - (1) ITを活用したハイブリッド図書館の整備
  - (2) 県民に開かれた図書館経営
- 6 今後の図書館経営・施設整備の方向性
  - (1) 地域分担から機能強化へ
  - (2) 中央図書館の施設整備

## &lt;最重点事業&gt;

- ① 資料搬送ネットワークの維持・改善
- ② 図書館研修センターとしての機能強化
- ③ 児童サービス職員研修会の開催、運営相談の実施
- ④ 家庭における読書活動の推進
- ⑤ 学校向けの貸出用資料の整備
- ⑥ 課題解決支援サービスの実施及び市町村立図書館への普及
- ⑦ 高齢者サービスの開発
- ⑧ 障害者サービスの充実及び市町村立図書館への普及
- ⑨ 千葉県関係資料の網羅的収集整備、保存
- ⑩ 千葉県関係の情報検索ツールの充実
- ⑪ 電子書籍サービス
- ⑫ 図書館の広報戦略の強化
- ⑬ 中央図書館の施設整備

行動計画に掲げた重点事業以外にも、推進・検討すべき事業があります。ここに示していない事業についても、日常の図書館のサービスや運営に取り組む中で、更に、研究・改良して、県民の読書活動や生涯学習環境が、より一層充実できるよう、読書県「ちば」の推進に努めていきます。

# 「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画

## I 市町村立図書館充実のための支援強化

○印の事業は「最重点事業」を示す。

住民の生涯学習と地域の発展を支える情報拠点としての機能を十二分に発揮し、充実した図書館サービスが行えるよう市町村立図書館を支援する。

### 1 県内図書館ネットワークの中核的機能の強化

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
① 資料搬送ネットワークの維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立図書館間は週2回の連絡便が巡回している。</li> <li>分担収集が進み、資料を取り寄せる回数が多くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館利用者に迅速な資料提供をするために巡回頻度を増加する必要がある。</li> </ul>	現在の資料搬送ネットワークを継続するとともに課題について検討し、現状よりも多くの施設に、市町村で収集し難い資料収集を含め、迅速な資料提供ができるようにする。  <年度別> 25～26年度 図書館実態調査の実施(他都道府県、県内市町村) 27～28年度 調査結果の分析・対応検討 29年度 資料搬送ネットワークの改善  <重点的取組> ・利用促進への広報活動 ・県立図書館の蔵書貸出促進 ・市町村立図書館等読書施設蔵書の相互貸借制度の整備促進	① 県立図書館蔵書貸出冊数 ② 市町村立図書館等蔵書貸出冊数
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内全市町村立図書館等読書施設と連携している。市町村の中心図書館等施設、大学図書館、類縁機関に毎週1回巡回している。(巡回館数 62館、うち大学4校、類縁機関3施設) ※「市町村立図書館等読書施設」は、図書館未設置市町村を含む(以下他の項目も同様)</li> <li>予算減により県内図書館の資料購入冊数が減少し、他館借用依頼する回数が多くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学図書館、類縁機関等との連携施設数が少なく、全県図書館等生涯学習施設ネットワーク構築ができていないため、対象施設拡大の検討が求められている。</li> </ul>		
【高等学校については、II-2-1の項目参照】				
2 情報検索ネットワークシステム(横断検索システム)の維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村立図書館等読書施設(33市4町67館)と千葉大学附属図書館の計68館が参加し、横断的な蔵検索が可能となっている。(千葉県内図書館横断検索システム)</li> <li>市町村立図書館等読書施設からシステム改善の要望が出されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年11月稼動の新システムで、ある程度改善できたが、更に改善の必要がある。</li> </ul>	次期システムの更新(平成29年11月予定)に向けて更なる対象館の拡大とシステムの改良を行う。  <年度別> 25年度～ 次期システムの検討 26年度 県内図書館アンケート調査実施 27年度 調査結果の分析 29年度 システムの改善  <重点的取組> ・利用者ニーズの把握	③ 利用者アンケート満足度調査
3 県内大学図書館、類縁機関とのネットワークづくりを推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉大学附属図書館が千葉県内図書館横断検索に参加し、県立図書館と相互貸借を実施している。</li> <li>大学図書館6館、専門学校1校、類縁機関2機関に巡回し資料を搬送している。</li> <li>県立図書館の主な相互貸借は、千葉大学附属図書館、千葉県立保健医療大学図書館にどとまっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学図書館、類縁機関等との連携施設数が少なく、県内生涯学習施設ネットワーク構築ができていないため、対象施設拡大の検討が必要となっている。</li> </ul>	・大学図書館については、千葉県立図書館横断検索への参加や相互貸借など、一層の連携や充実を図る。 ・類縁機関については、県の機関を中心に連携を推進し、千葉県関係資料のデータベースの一層の充実を図る。  <年度別> 25～28年度 大学図書館、類縁機関と連携について協議 29年度 新ネットワークの始動  <重点的取組> ・参加促進への広報活動	

### 2 新しい図書館サービス実施のための職員研修プログラムの開発・実施

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
① 図書館研修センターとしての機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村立図書館等読書施設職員を対象に、3館で15種30回の研修会を開催。</li> <li>西部・東部で開催する研修会は、周辺地域以外の図書館参加者が少ない。また、非常勤職員、委託職員の参加が多くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村が参加しやすく、各職員の職制やキャリア別に対応した研修の体系化、研修内容や研修プログラムの見直しが求められている。</li> <li>研修の見直しは、県立図書館単独では限界があることから、千葉県公共図書館協会主催の研修会と連携した研修プログラムの検討・開発が重要である。</li> </ul>	・運営支援の一環として、全ての県内図書館等読書施設の職員が、図書館サービス向上のための研修を受けられるよう、千葉県公共図書館協会と連携した研修プログラムの開発を行う。  <年度別> 25～26年度 県内図書館アンケート調査(検討・実施・分析) 27～28年度 研修プログラムの検討 29年度 新プログラムによる研修開始  <重点的取組> ・研修事業参加啓発 ・魅力ある研修内容の充実	④ 研修会の参加者数及び満足度

## II 未来を担う子どもの読書活動の推進

県内公立図書館のセンター館として、家庭、市町村立図書館、学校等における子どもの読書活動やこれに携わる人や機関等との連携協力の推進を図る。

### 1 子どもの読書活動推進センター館機能の強化

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
① 児童サービス職員研修会の開催、運営相談の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童サービス基礎研修会を年4回開催するとともに、運営相談には適宜応じている。</li> <li>児童サービス基礎研修会は要望はあるが、市町村での旅費や勤務体制(特に図書館未設置市町村)などから連続研修への参加が難しくなっている。また、経験年数2~3年(児童サービス基礎研修会修了者)の担当者の研修が不可欠である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修内容や研修プログラムの見直し、市町村立図書館等読書施設図書室担当職員育成を支援するための研修プログラムの開発が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村立図書館等読書施設でも対応できるよう児童サービス担当職を育成する。</li> <li>研修プログラム等の見直しを図る。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25~26年度 県内図書館アンケート調査の実施 27年度 事業内容の検討 28年度 新研修プログラムの始動</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・研修事業参加啓発 ・図書館職員レベルアップのための研修内容充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④研修会の参加者数及び満足度</li> <li>⑤児童サービス研修会開催回数</li> </ul>
② 家庭における読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種ブックリスト(赤ちゃんへの贈り物・テーマ展示リスト)の配布、県生涯学習課で発行するリストへの協力実施。</li> <li>学校や公民館、保育園等で読み聞かせのボランティアをしている方を対象とした子どもの本の読み聞かせ講座を毎年、県内2市町村で開催している。</li> <li>読み聞かせのボランティアをしている方に対する継続的な研修ニーズが高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座プログラムの見直し、乳幼児・児童などの保護者等への読書支援等新たなサービスの開発が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座プログラム等事業の見直しを図り、地域のボランティアとして活動できるよう支援する。</li> <li>乳幼児・児童などの保護者等への課題解決支援サービスを検討、実施する。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25年度~ 事業内容の再検討と実施 27年度 新講座プログラムの実施</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・研修事業参加啓発 ・研修内容の充実 ・課題解決支援サービスの実施</p>	⑥図書館ボランティアの育成者数
3 ヤング・アダルトサービスの開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高生、大学生の職場体験、インターンシップを積極的に受け入れている。</li> <li>平成20年度から企画展示に合わせ近隣中学生を招き図書館活用説明会を開催(中央図書館)。</li> <li>中学生・高校生向けコーナー設置など、ヤングアダルト対象のサービスが求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般サービスとしてのヤングアダルトサービスの研修の場(現状では児童サービスに含まれている)を含め、10代の対象者に絞った取り組みが重要となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10代の若者に対して進路や就職など必要な資料情報活用のための支援を行う。</li> <li>10代に出会う多様なテーマや生き方を、読書を通じて支援していく。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 26~27年度 サービス計画立案・策定 28年度 関係資料整備 29年度 サービスの開始</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・関係資料を含めた児童資料の収集と提供 ・図書館ホームページの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦児童書の貸出冊数</li> <li>⑧子ども読書支援関係のテーマ別リスト作成件数</li> </ul>

### 2 学校図書館との連携・支援

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
① 学校向けの貸出用資料の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度より、高等学校・特別支援学校用セットの整備を開始している。(学校用セット数69セット)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の整備は、資料の入れ替えや新規のテーマについても整備していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校からの要望も取り入れながら、新規のテーマや既存のセットに新刊図書を組み入れる等、授業で利用できる資料整備を推進していく。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25~29年度 学校用セットの整備 25~26年度 学校図書館へのアンケート調査の実施</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・ニーズに合わせた資料収集 ・県立図書館蔵書貸出促進</p>	⑨高等学校への資料貸出冊数
2 物流ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>西部・東部は、エリア内には、巡回と最寄の市町村立図書館や学校を経由して、資料を搬送している。(高等学校巡回校数 西部34校、東部11校)</li> <li>中央は、リクエストがあった学校に対し、宅配便により資料を毎週搬送している。(高等学校配送校数 48校)</li> <li>利用があっても巡回できなかつたり、巡回していても利用のない学校もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>搬送方法がニーズに対応できていない部分があり、ネットワークの拡大や利用促進のための物流支援体制の構築が必要となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の資料搬送ネットワークを継続するとともに課題について検討し、現状よりも多くの学校に、迅速な資料提供ができるよう効率的なネットワークを整備する。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25~26年度 学校図書館へのアンケート調査の実施 27~28年度 物流ネットワークの再構築 29年度 新ネットワークの開始</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・利用促進への広報活動 ・県立図書館蔵書貸出促進</p>	⑨高等学校への資料貸出冊数
3 小・中学校図書館との連携・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村立図書館等と連携して、資料提供やテーマ別リストの作成、協力レファレンス、運営相談等の支援を行っている。</li> <li>図書館未設置市町村の学校図書館への支援が十分とは言えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該市町村と一体となった県立図書館としての学校図書館の読書環境支援体制の構築・新たな読書支援サービスが重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業内容を再検討し、研修会の実施や講師の派遣など事業の充実を図る。特に図書館未設置市町村の学校図書館への支援方法等を検討し、実施していく。</li> <li>児童・生徒が抱える課題解決支援サービスを検討し、資料・情報を提供する。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25年度~ 事業内容の再検討と実施 25~27年度 図書館未設置市町村読書施設の実態調査と支援方法再検討 28年度 図書館未設置市町村小中学校の図書館に対する当該自治体と協力した支援開始</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・利用促進への広報活動 ・講師等の積極的派遣 ・図書館ホームページの充実 ・学校で役立つ課題解決支援サービス</p>	⑩教職員等に対する研修会開催回数及び講師派遣件数

### Ⅲ 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及

県民や地域、行政が抱えている法律、医療・福祉の問題、まちづくりなどの課題を解決するための調査研究支援を先導して行うとともに、市町村立図書館等への普及を図る。

#### 1 県民の課題解決に対する支援

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
① 課題解決支援サービスの実施及び市町村立図書館への普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>県関係機関と連携した就職や消費者問題、健康問題等の講座、法テラスと連携した法律判例情報講座を開催。</li> <li>市町村立図書館職員向けに、平成24年度から課題解決支援サービス研修会を開催。</li> <li>政策立案のための行政関係への支援として、県庁各課・機関に対して資料や情報の提供を行っている。</li> <li>地域の課題に対応した市町村立図書館での課題解決支援サービスは12市の図書館で実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民への図書館で課題解決支援サービスの周知。地域の課題に対応した市町村立図書館での課題解決支援サービス実施館増など、市町村立図書館への事業普及・支援について検討することが求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立3館の研修内容を精査し、千葉県公共図書館協会とも連携して開催する等市町村立図書館への普及を推進する。</li> <li>地域の課題に対応した課題解決支援サービスのサービス計画の立案を支援するため、市町村立図書館等の相談に応じる。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25年度～ 市町村立図書館主体の課題解決講座 始業の相談対応開始 25～26年度 事業内容の検証 27～29年度 研修会のプログラム再編</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・利用促進への広報活動 ・市町村啓発を含めた研修内容の充実</p>	④ 研修会の参加者数及び満足度
2 レファレンス事例集紹介、調べ案内、リンク集の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>レファレンスデータやパスファインダー(調べ案内)、リンク集作成、県民や市町村立図書館がホームページから検索できるようにしている。</li> <li>図書館利用者ニーズが多様化、急激な情報の変化への対応が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館を取り巻く社会情勢の変化に対応した情報提供を行うことが重要となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者ニーズを把握し、作成件数を増加しながら、既存のものについても常に最新のものに更新していく。</li> <li>作成にあたっては、県行政機関の広報活動支援の一助となるよう各機関が発信する情報の収集及び提供に努める。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25～29年度 利用者ニーズの把握・検討 データの新規作成及び更新</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・ニーズに合わせたデータ作成と提供</p>	⑪ 国会図書館レファレンス協同データベース(レファレンス事例集紹介)提供件数 ⑫ パスファインダー(調べ案内)の作成件数
3 商用データベースの積極的導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞記事や法律関係のデータベースを導入して、県民や図書館からのレファレンスサービスに迅速に対応するよう配慮している。</li> <li>検索技術のガイダンスを開催(不定期)している。</li> <li>データベースの種類が少なく、導入した館でしか利用できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種データベースの増加と迅速に県民ニーズに対応することが求められている。</li> <li>ガイダンスの開催時期を含めて、多くの県民に周知、参加できるような方策を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的且つ効率的な導入方法を検討し、専門的なレファレンスに迅速に対応できるようにする。</li> <li>多くの来館者が操作方法を修得できるよう分かり易く、魅力的なガイダンスを定期開催する。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25年度 ガイダンスの検討・実施 25～28年度 データベースの導入方法の検討 29年度 導入方法の変更</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・館内で利用できるデータベースの調査と紹介 ・ニーズに合わせたガイダンス実施</p>	

#### 2 高齢者・障害者サービス等

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 バリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館は昭和43年建設で、バリアフリーとしての施設対応がなされていない。</li> <li>平成24年11月のホームページリニューアルにより、障害者用のページ設定が可能となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設面、利用面でバリアフリー化の推進が重要となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化改修後のリニューアルに向けて、次期システムの更新も視野に入れてワンストップサービスの実現や書庫出納の迅速化等施設面、情報面においてバリアフリー化を推進する。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25年度～ 施設検討(基本設計・実施設計)、耐震等改修工事 27年度～ 次期システム検討・更新</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・計画的な施設改修実施 ・ニーズの把握と検討</p>	
② 高齢者サービスの開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>大活字資料を収集し利用に供している。(所蔵大活字図書 5,254冊)</li> <li>平成24年度中にシニア向け講座を開催する。</li> <li>平成27年には、65歳以上人口は、平成17年に比べて約50%の急増を示し、千葉県民の4人に1人と予測されている。(「高齢化の現状と課題 健康ちば21」平成22年12月16日 千葉県健康福祉部健康づくり支援課健康ちば推進室調べによる。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化社会が進む中で、今後もシニア世代の図書館利用増が見込まれるため、図書館としての新たな取組が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係資料や拡大読書器等の提供とともに、講座開催など、シニア向けサービスを検討、実施する。</li> <li>県行政関係機関の広報活動と連携した講座・研修事業を検討、実施する。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25～26年度 先進事例調査 27年度 課題と対応案の検討 28年度 事業内容の検討 29年度 サービスの実施</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・ニーズの把握と検討</p>	
③ 障害者サービスの充実及び市町村立図書館への普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>録音図書の製作・貸出しや対面朗読サービスを実施するとともに障害者サービス研修会を年1回開催し、市町村立図書館への普及を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障害者以外の、肢体不自由、知的障害等活字による読書が困難な他の障害者に対するサービスを充実する必要がある。</li> <li>県内市町村立図書館の障害者サービスが十分に普及していないため、魅力的で実践可能な研修プログラムの検討が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県や市町村の担当課、特別支援学校、関係団体等と連携した広報活動を行う。</li> <li>県や市町村の社会福祉協議会などを通して利用者ニーズを把握し、サービスの充実を図る。</li> <li>市町村立図書館で事業を行う重要性が理解できるよう研修事業を見直す。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25年度 広報計画の作成 26年度 研修事業の見直し、広報事業開始 27年度～ 新研修プログラムの実施</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・利用促進への広報活動 ・市町村啓発を含めた研修内容の充実</p>	⑬ 録音図書貸出タイトル数及び利用者満足度



#### IV 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

千葉県や県内市町村に関する資料を網羅的に収集・保存し、将来にわたって利用できるようにするとともに、千葉県に関する情報窓口として様々な情報を発信していく。

##### 1 千葉県関係資料の網羅的収集、提供、保存

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
① 千葉県関係資料の網羅的収集整備、保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集については、資料を購入や寄贈により積極的に収集している。(平成23年度千葉県資料収集冊数 3,188冊)</li> <li>個人や市町村の地域・行政資料が十分収集できていない。</li> <li>インターネットでしか見られない資料が増加し、印刷媒体での利用も求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集方法の再検討が必要である。</li> <li>印刷、収集する際の著作権者許諾など、利用者への情報提供の整理と検討が不可欠である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>網羅的収集ができるよう地域・行政資料等の積極的な収集体制づくりを進める。</li> <li>インターネット上の資料を図書館情報システムの中で収集・閲覧できるよう、著作権者の許諾対応など研究していく。</li> <li>資料収集の一環として、県民への県立図書館機能の周知と情報収集を行う。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25年度～ 県民向け広報活動の検討と実施 26年度 都道府県立図書館の調査 27～28年度 情報提供システムの検討 29年度 次期システムの更新</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・効率的な収集方法の検討 ・ニーズの調査による関連情報の把握と検討・実施</p>	
2 千葉県関係資料インターネット情報検索機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立図書館以外のデータベースは、平成24年11月から博物館や文書館、総合教育センターの所蔵資料のデータベースを横断的に検索できるようになった。</li> <li>千葉県関係資料情報が含まれるデータベースや県内機関のデータベースが横断的な検索には十分に対応できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更なる千葉県関係の一括情報検索の充実に向けた方策を検討することが求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県機関で所有している小規模な資料データベースや音声や映像等の資料以外のデータベースについても横断的に検索できるよう研究する。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 27～28年度 情報提供システムの検討 29年度 次期システムの更新</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・ニーズの調査による関連情報の把握と検討</p>	
③ 千葉県関係の情報検索ツールの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>パスファインダー(調べ方案内)、レファレンスデータを作成・入力し、ホームページ上で利用できるようにしている。</li> <li>千葉県関係索引データ(新聞雑誌記事索引、人名索引、歴史関係雑誌記事索引)を作成・入力し、ホームページ上で検索・利用できるようにしている。</li> <li>千葉県関係索引には未整備のものがある。(千葉日報(昭和62年6月以前の情報)、東部地域以外の市町村史における人名、歴史関係以外の雑誌記事)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県関係索引データが未整備であることから、計画的対応を図ることが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者ニーズを把握し、作成件数を増加していく。</li> <li>千葉県関係索引データ遊及入力について検討し、計画的に入力していく。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25年度 遊及入力計画の検討 26～29年度 入力作業の実施</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・ニーズに合わせたデータ作成と提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑪国会図書館レファレンス協同データベース提供件数</li> <li>⑫パスファインダー(調べ方案内)の作成件数</li> <li>⑭千葉県関係索引入力件数</li> </ul>
4 千葉県関係レファレンスデータベースの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村立図書館では、住民の求める事項について、資料及び情報の提供又は紹介などを行うレファレンスサービスの充実・高度化が求められている。(「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館が作成したレファレンスデータベースがより多く公開・利用できるよう、データベースの作成・蓄積を指導・助言していくことが重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内図書館のレファレンスデータベースの実態調査を行うとともに、千葉県関係レファレンスデータベースの構築を次期システムに向けて検討する。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25年度 事業内容の検討 26年度 県内図書館実態調査 27～28年度 情報提供システムの検討 29年度 次期システムの更新</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・システム構築に向けての検討(図書館職員の専門性向上等含む)</p>	
5 資料の劣化防止のためのマイクロフィルム化やデジタル化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県に關係する所蔵資料(江戸時代刊行和装本等)をマイクロフィルム化及びデジタル化し、ホームページでの閲覧ができるようにした。(デジタル化件数 1,997件)</li> <li>明治以降の所蔵資料の虫損や酸化等による劣化が懸念されるが、保存の一手段であるデジタル化が図れていない。</li> <li>国立国会図書館所蔵のデジタル化資料の整備が進み、千葉県関係資料も含まれるようになったが収録内容の把握ができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原本の現状維持を含めた資料のデジタル化が急務である。</li> <li>国立国会図書館所蔵千葉県関係デジタル化資料の活用方法を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治以降に刊行された資料についても劣化が進んでいるので、保存対策を検討し、計画的にマイクロフィルム化及びデジタル化を計画的に進めていく。</li> <li>国立国会図書館デジタル化資料における千葉県関係資料の活用を図る。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25年度 デジタル化計画の作成 26年度 著作権処理対応などの調査 27～29年度 マイクロフィルム及びデジタル化</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・劣化状況の把握と効率的な対応策の検討</p>	

##### 2 関係機関と連携した地域デジタル情報の収集・発信

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 関係機関との連携による利用の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館等類縁機関内でのデジタル情報の共有化は行っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館等の所蔵資料をデジタル化したものを含めた「デジタル化情報一覧」の作成に向けての体制作りが重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期システムに向けて、県行政機関及び博物館等類縁機関と協議し、デジタル情報の共有化を研究していく。</li> </ul> <p>&lt;年度別&gt; 25～26年度 類縁機関との協議 27～28年度 次期システムの検討 29年度 県内デジタル図書館サービス開始</p> <p>&lt;重点的取組&gt; ・対象機関との連携調整</p>	

## V 社会の変化に対応した図書館サービスの推進

情報環境の急激な変化に対応した新しい図書館サービスを推進するとともに、県民に開かれた図書館経営を行うため、利用者への情報提供や広報を積極的に行う。

### 1 ITを活用したハイブリッド図書館の整備

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 資料のデジタル化や電子書籍によるハイブリッド図書館		・資料のデジタル化 IV-1-5 ・電子書籍サービス V-1-2	・紙媒体の資料、視聴覚資料とともに「資料のデジタル化」を進め、併せて電子書籍サービスを試行しながら県民ニーズに対応した情報提供サービスの充実を図る。	
② 電子書籍サービス	・平成24年11月の電算システム更新を契機に電子書籍サービスの検討を行っている。	・民間や国レベルでの電子書籍対応が進む中で、県立図書館としての対応が求められている。	・民間や国立国会図書館の動向を踏まえ、電子書籍サービスを開始する。 ・サービスを施行する中では、市町村立図書館でも開始できるよう調査、検証していく。  <年度別> 25年度 中央図書館でサービス試行開始 26～28年度 サービスの検証、他県調査 29年度 次期システムの検討	
			<重点的取組> ・対象機関との連携調整	

### 2 県民に開かれた図書館経営

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
① 図書館の広報戦略の強化	・定期的に館報を発行するとともに、ホームページ上で様々な情報発信を行っている。  ・平成20年2月に県生涯学習課が、県内小・中・高・特別支援学校の生徒及び保護者並びに市町村立公民館及び図書館来館者を対象に行ったアンケート調査では、県立図書館の存在や利用について、「知らない」「利用したことがない」が多数を占めていた。	・多くの県民に図書館を周知し利用されるための積極的な広報活動が必要である。	・県民ニーズを理解し反映するための定期的調査を行い、年間事業計画をたて、県や市町村とも連携し、県内図書館利用促進を含めた実施事業の広報を継続して行っていく。  <年度別> 25年度～ 広報計画の作成と実践 利用者アンケート調査実施 (非来館者対象の県立図書館アンケート調査検討)	③利用者アンケート満足度調査
			<重点的取組> ・ニーズの把握と検討・実施	

## VI 今後の図書館経営・施設整備の方向性

中央図書館を中核に、3館が一体となって機能強化を図るため、組織体制やサービス内容の見直しを行うとともに、老朽化した中央図書館の施設整備をすすめる。

	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 地域分担から機能強化へ	・3館が連携して、来館とともに県内市町村立図書館等読書施設を支援することで、県民の課題解決支援や読書活動が充実するようにしている。  ・近年、少子高齢化及び高度情報化社会、市町村立図書館の発展等社会情勢が急激に変化し続けている。	・県立図書館として、社会情勢の変化に対応した県民の課題解決や読書活動の効果的・効率的な支援体制等を整備することが急務である。	・県民ニーズや時代に対応した図書館サービスを実践するため、組織体制やサービス内容の見直しを行う。 ・県立図書館司書の専門的知識・経験を活かしながら、数値目標と図書館関係の調査実施などを通じて、自己点検と外部評価により、効果的・効率的な図書館経営を進める。 ・3館が収集分担を明確にし、連携して市町村立図書館が収集し難い資料を多く収集・保存し、提供できるようにする。  <年度別> 25年度～ 組織体制、サービス見直し 29年度 「在り方」の見直し	③利用者アンケート満足度調査
			<重点的取組> ・ニーズの把握と検討・実施	
② 中央図書館の施設整備	・中央図書館は昭和43年建設で、耐震化・老朽化・バリアフリー化など施設対応がなされていない。  ・書庫は、昭和59年(第二次増築)以後、増築がされていない。  ・西部及び東部図書館へ資料を移動している。 (図書・雑誌を約16万冊移動)	・施設の耐震化・老朽化対策が急務である。  ・施設のバリアフリー化が必要である。  ・西部・東部図書館を含め、書庫の狭隘化対策が喫緊の課題となっている。	<年度別> 25年度～ 施設検討(基本設計・実施設計)、耐震等改修工事	
			<重点的取組> ・施設の改修工事の推進 ・狭隘化対策の検討と実施	

(参考1)

数値項目一覧表(平成24年度の現状と3年後の目標数値)

(※目標数値は3年間の平均値または累積数とする。)

行動計画	数値項目	基本数値 24年度	目標数値(※) 27年度	H24年度 評価指標	
I 市町村立図書館充実のための支援強化	1 県立図書館蔵書貸出冊数 (I-1-1 資料搬送ネットワークの維持・改善)	冊	平均 冊	⑤	
	2 市町村立図書館等読書施設蔵書貸出冊数 (I-1-1 資料搬送ネットワークの維持・改善)	冊	平均 冊	⑥	
	3 利用者アンケート満足度調査 (I-1-2 検索情報ネットワークシステム(横断検索システム)の維持・改善)	%以上 (実績 %)	平均 %以上	⑱	
	4 研修会の参加者数及び満足度 (I-2-1 図書館研修センターとしての機能強化)	人 【未調査】 (研修の理解度と満足度)	平均 人 %以上 (研修の理解度と満足度)	⑦ 【⑧変更※1】	
II 未来を担う子どもの読書活動の推進	研修会の参加者数及び満足度 (II-1-1 職員研修会の開催、運営相談の実施)	【再出 4】			
	5 児童サービス研修会開催回数 (II-1-1 職員研修会の開催、運営相談の実施)	人	平均 人	⑩	
	6 図書館ボランティアの育成者数 (II-1-2 家庭における読書活動の推進)	人	平均 人	⑯	
	7 児童書の貸出冊数 (II-1-3 ヤング・アダルトサービスの開発)	冊	平均 冊	⑨	
	8 子ども読書支援関係のテーマ別リスト作成件数 (II-1-3 ヤング・アダルトサービスの開発)		累計 件	(新規)	
	9 県立学校等への資料貸出冊数 (II-2-1 学校向けの貸出用資料の整備)	冊	平均 冊	⑪	
	県立学校等への資料貸出冊数 (II-2-2 物流ネットワークの整備)	【再出 9】			
	10 教職員等に対する研修会開催回数及び講師派遣件数 (II-2-3 小・中学校図書館との連携・支援)	回	平均 回	⑫	
	III 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及	研修会の参加者数及び満足度 (III-1-1 課題解決支援サービスの実施及び市町村図書館への普及)	【再出 4】		
		11 国立国会図書館のレファレンス協同データベース(レファレンス事例集紹介)への事例提供件数 (III-1-2 レファレンス事例紹介、調べ案内、リンク集の作成)	件	累計 件	⑬
12 パスファインダー(調べ案内)の作成件数 (III-1-2 レファレンス事例紹介、調べ案内、リンク集の作成)		件	累計 件	⑭	
13 録音図書貸出タイトル数及び利用者満足度 (III-2-3 障害者サービスの充実・市町村図書館への普及)		タイトル 【未調査】	平均 タイトル %以上	⑮ (新規)満足度	
IV 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承	国立国会図書館のレファレンス協同データベース(レファレンス事例集紹介)への事例提供件数 (IV-1-3 千葉県関係の情報検索ツールの充実)	【再出 11】			
	パスファインダー(調べ案内)の作成件数 (IV-1-3 千葉県関係の情報検索ツールの充実)	【再出 12】			
	14 千葉県関係索引入力件数 (IV-1-3 千葉県関係の情報検索ツールの充実)	件	累計 件	⑰	
V 社会の変化に対応した図書館サービスの推進	利用者アンケート満足度調査 (V-2 図書館の広報戦略の強化)	【再出 3】			
VI 今後の図書館経営・施設整備の方向性	利用者アンケート満足度調査 (VI-1 地域分担から機能分担へ)	【再出 3】			

基本項目 (数値目標とはせずに単に指標として扱う項目)

区分	項目	【基本値】 24年度	前年度 【23年度】	H24年度 評価指標
基本項目	15 資料受入冊数 (うち 千葉県関係資料受入冊数)	冊 ( 冊)	冊 ( 冊)	① (追加)
	16 来館者数	人	人	②
	17 レファレンス件数 【内数】 A 千葉県関係レファレンス件数 B 県内市町村等協力レファレンス件数	件 (A 件、 B市町村 件、 学校 件)	件 (A 件、 B市町村 件、 学校 件)	③ (A⑱※2) (B追加)
	18 ホームページへのアクセス件数	件	件	④

※1 平成24年度の⑧講師件数は事業報告で示す。

※2 レファレンス件数の内数に「⑱千葉県関係」と「(新規)相互協力」を表示する。

平成24年度数値項目(図書館サービス評価指標)

区分	No.	サービス評価指標
基本項目	①	資料受入冊数
	②	来館者数
	③	レファレンス件数
	④	ホームページへのアクセス件数
<1 市町村立図書館充実のための支援強化>		
	⑤	県立図書館蔵書貸出冊数
	⑥	市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数
	⑦	研修会の参加者数
	⑧	研修会の講師件数
<2 未来を担う子どもの読書活動の推進>		
	⑨	児童書の資料貸出冊数
	⑩	児童サービス研修会の開催回数
	⑪	県立学校等への資料貸出冊数
	⑫	教職員等に対する研修等の開催回数及び講師派遣件数
<3 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及>		
	⑬	国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの事例提供件数
	⑭	調べ案内(パスファインダー)の作成件数
	⑮	録音図書貸出タイトル数
	⑯	図書館ボランティアの育成者数
<4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承>		
	⑰	千葉県関係データベース入力件数
	⑱	千葉県関係レファレンス件数
<5 社会の変化に対応した図書館サービスの推進>		
	⑲	来館者満足度

< >内は「千葉県立図書館の今後の在り方」の「県立図書館の役割と機能」項目

(参考2) 年度別行動計画 一覧表

○印の事業は「最重点事業」を示す。

項番	重点事業	行動計画	年 度				
			25	26	27	28	29
I-1-1	○資料搬送ネットワークの維持・改善	図書館実態調査の実施(他都道府県、県内市町村)	●	●			
		調査結果の分析・対応検討			●	●	
		資料搬送ネットワークの改善					●
I-1-2	情報検索ネットワークシステム(横断検索システム)の維持・改善	次期システムの検討	●	●	●	●	●
		県内図書館アンケート調査実施		●			
		調査結果分析			●		
		システムの改善					●
I-1-3	県内大学図書館、類縁機関とのネットワークづくりを推進	大学図書館、類縁機関と連携について協議	●	●	●	●	
		新ネットワークの始動					●
I-2-1	○図書館研修センターとしての機能強化	県内図書館アンケート調査実施	●	●			
		研修プログラムの検討			●	●	
		新プログラムによる研修開始					●
II-1-1	○児童サービス職員研修会の開催、運営相談の実施	県内図書館アンケート調査の実施	●	●			
		事業内容の検討			●		
		新研修プログラムの始動				●	
II-1-2	○家庭における読書活動の推進	事業内容の再検討と実施	●	●	●	●	●
		新講座プログラムの実施			●		
II-1-3	ヤング・アダルトサービスの開発	サービス計画立案・策定		●	●		
		関係資料整備				●	
		サービスの開始					●
II-2-1	○学校向けの貸出用資料の整備	学校用セットの整備	●	●	●	●	●
		学校図書館へのアンケート調査の実施	●	●			
II-2-2	物流ネットワーク(学校)の整備	学校図書館へのアンケート調査の実施	●	●			
		物流ネットワークの再構築			●	●	
		新ネットワークの開始					●
II-2-3	小・中学校図書館との連携・支援	事業内容の再検討と実施	●	●	●	●	●
		図書館未設置市町村読書施設の実態調査と再検討	●	●	●		
		図書館未設置市町村小中学校への間接的支援開始					●
III-1-1	○課題解決支援サービスの実施及び市町村図書館への普及	市町村図書館主体の課題解決講座始業の相談対応	●	●	●	●	●
		事業内容の検証	●	●			
		研修会のプログラム再編			●	●	●
III-1-2	レファレンス事例集紹介、調べ方案内、リンク集の作成	利用者ニーズの把握・検討データの新規作成及び更新	●	●	●	●	●
III-1-3	商用データベースの積極的導入	ガイダンスの検討・実施	●				
		データベースの導入方法の検討	●	●	●	●	
		導入方法の変更					●
III-2-1	バリアフリー化の推進	施設検討(基本設計・実施設計)、耐震等改修工事	●	●	●	●	●
		次期システム(ソフト)検討・更新			●	●	●
III-2-2	○高齢者サービスの開発	先進事例調査	●	●			
		課題と対応案の検討			●		
		事業内容の検討、サービス実施				●	●
III-2-3	○障害者サービスの充実及び市町村図書館への普及	広報計画の作成	●				
		研修事業の見直し、広報事業開始		●			
		新研修プログラムの実施			●		
IV-1-1	○千葉県関係資料の網羅的収集整備、保存	県民向け広報活動の検討と実施	●	●	●	●	●
		都道府県立図書館の調査		●			
		情報提供システムの検討			●	●	
		次期システムの検討・更新					●
IV-1-2	千葉県関係資料インターネット情報検索機能の充実	情報提供システムの検討			●	●	
		次期システムの更新					●
IV-1-3	○千葉県関係の情報検索ツールの充実	遡及入力計画の検討	●				
		入力作業の実施		●	●	●	●
IV-1-4	千葉県関係レファレンスデータベースの構築	事業内容の検討	●				
		県内図書館実態調査		●			
		情報提供システムの検討			●	●	
		次期システムの更新					●
IV-1-5	資料の劣化防止のためのマイクロフィルム化やデジタル化の推進	デジタル化計画の作成	●				
		著作権処理対応などの調査		●			
		マイクロフィルム及びデジタル化			●	●	●
IV-2-1	関係機関との連携による利用の拡大	類縁機関との協議	●	●			
		次期システムの検討			●	●	
		県内デジタル図書館サービス開始					●
V-1-2	○電子書籍サービス	中央図書館でサービス試行開始	●				
		サービスの検証、他県調査		●	●	●	
		次期システムの検討					●
V-2-2	○図書館の広報戦略の強化	広報計画の作成と実践、利用者アンケート調査実施(非来館者対象の県立図書館アンケート調査検討)	●	●	●	●	●
VI-1	地域分担から機能強化へ	組織体制及びサービス見直し及び県民ニーズの把握、検証	●	●	●	●	●
		「在り方」の見直し					●
VI-2	○中央図書館の施設整備	施設検討(基本設計・実施設計)、耐震等改修工事	●	●	●	●	●

# 「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画（案） ～つなげよう千葉の叡智—情報拠点としての図書館～

## 「6つのアクション」と「重点項目」

読書県「ちば」を目指して県立図書館が取り組むべき「6つのアクション」と「重点項目」を提示し、それを実現するために、今後概ね5年間で実施する重点事業の行動計画を策定しました。

### アクション I 市町村立図書館充実のための支援強化

- 県内図書館ネットワークの中核的機能の強化
- 新しい図書館サービス実施のための職員研修プログラムの開発・実施

「横断検索システム」充実、すべての県内図書館等読書施設の職員が研修を受けられる市町村立図書館職員への研修プログラムの開発など

### アクション III 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及

- 県民の課題解決に対する支援
- 高齢者・障害者サービス等の普及

県民の法律、健康・福祉など課題解決支援充実、高齢者向けサービス等最新情報提供サービスを含めた開発と充実など

### アクション V 社会の変化に対応した図書館サービスの推進

- ITを活用したハイブリッド図書館の整備
- 県民に開かれた図書館経営

紙媒体、電子情報・デジタル資料のサービス提供を併用したハイブリッド型の図書館化、県や市町村立図書館の有効性や役に立つ図書館を広める効果的な広報活動・事業展開など

### アクション II 未来を担う子どもの読書活動の推進

- 子どもの読書活動推進のセンター館機能の強化
- 学校図書館との連携・支援

市町村立図書館職員の児童担当育成・研修プログラム開発・充実、ヤング・アダルト等向けの課題解決・情報提供サービス実施、学校図書館への資料提供や研修会等の講師派遣など

### アクション IV 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

- 千葉県関係資料の網羅的収集、提供、保存
- 関係機関と連携した地域デジタル資料の収集・発信

千葉県関係資料の網羅的収集の一環としての県民向け事業広報活動とデジタル資料の作成・提供、関係機関等と連携した各所蔵デジタル情報の共有化検討など

### アクション VI 今後の図書館経営・施設整備の方向性

- 地域分担から機能分担へ
- 中央図書館の施設整備

県民ニーズの把握と県民の利用方法等図書館サービスの見直し、県立中央図書館耐震等改修工事の計画的実施など



#### 最重点事業

- 資料搬送ネットワークの維持・改善
- 図書館研修センターとしての機能強化
- 児童サービス職員研修会の開催、運営相談の実施
- 家庭における読書活動の推進
- 学校向けの貸出用資料の整備
- 課題解決支援サービスの実施及び市町村立図書館への普及
- 高齢者サービスの開発
- 障害者サービスの充実及び市町村立図書館への普及
- 千葉県関係資料の網羅的収集整備、保存
- 千葉県関係の情報検索ツールの充実
- 電子書籍サービス
- 図書館の広報戦略の強化
- 中央図書館の施設整備

#### 行動計画の評価と検証

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
⇒	⇒	⇒ (数値見直し)	⇒	⇒

毎年度「事業実施計画」と「実施結果（数値18項目含む）」を示し評価を受ける。

#### 「行動計画」を進めていく中で

- 日常の図書館サービスの継続的な改善を図る。
- 行動計画の検証と検討、改善を行う。
- 次期在り方の見直しを行う際の検証材料とする。

## 千葉県立図書館運営方針(案)

県立図書館は、法令及び「千葉県立図書館の今後の在り方」等を踏まえ、県民の生涯にわたる多様な学習要求に応え、県民が等しく図書館サービスを楽しみ、県民文化の向上に寄与するよう、下記の基本方針に基づき、事業計画及び図書館サービス目標を定める。

### 【基本方針】

- 1 県立図書館は、中央、西部及び東部図書館の3館が一体となって県民の多様化した図書館サービスへの要求に応えるものとし、県内公共図書館、高等学校図書館及び大学図書館等との連携を図りながら、県内図書館サービス全体の向上を図るものとする。
- 2 県立図書館は、県内の中核的調査研究図書館としての機能を発揮するものとし、必要な資料収集及びレファレンス機能の向上に努めるとともに、本県関係資料の最終保存館としての機能の強化を図る。
- 3 県立図書館は、公共図書館ネットワークの中心館としての機能を発揮するものとし、市町村立図書館の求めに応じた援助や学校図書館との連携強化等を図る。
- 4 県立図書館は、図書館未設置市町村の読書施設に対し、補完サービスを行うとともに、当該市町村の求めに応じた必要な援助を行う。
- 5 県立図書館は、県内公共図書館職員の資質向上のための研修の充実に努める。
- 6 県立図書館は、「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画及び「千葉県立図書館のサービス評価指標」の達成に努めるとともに、達成状況の自己点検及び第三者評価を行う。

## 平成25年度県立図書館事業計画（案）

県立図書館は、県立図書館運営方針及び平成24年度に策定した『「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画』に基づき、中央図書館、西部図書館及び東部図書館が密接な連携を図りながら、次の重点事業を中心に、図書館サービスの実施、充実を図る。

## 【重点事業】

※〈 〉以外は県立3館で実施

## 1 市町村立図書館充実のための支援強化

- ・資料搬送ネットワークの維持・改善（図書館実態調査の実施）
- ・図書館研修センターとしての機能強化（図書館アンケート調査の実施）

## 2 未来を担う子どもの読書活動の推進

- ・児童サービス職員研修会の開催、運営相談の実施（図書館アンケート調査の実施）
- ・家庭における読書活動の推進（【新規】子育て支援コーナーの設置〈中央〉）
- ・学校向けの貸出用資料の整備（学校図書館アンケート調査の実施〈中央〉）

## 3 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及

- ・課題解決支援サービスの実施及び市町村立図書館への普及（県立3館での課題解決支援サービス研修会の開催）
- ・高齢者サービスの開発（先進事例の調査）
- ・障害者サービスの実施及び市町村立図書館への普及（広報計画の作成）

## 4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

- ・千葉県関係資料の網羅的収集、提供、保存（県民向け広報活動の検討〈中央〉）
- ・千葉県関係の情報検索ツールの充実（千葉県関係情報データ入力計画の検討）

## 5 社会の変化に対応した図書館サービスの推進

- ・電子書籍サービス（【新規】館内サービスの試行開始〈中央〉）
- ・県民向け広報活動の実施（ラジオ放送や広報誌等による所蔵資料や事業の紹介〈中央〉）

## 6 中央図書館の施設整備

- ・中央図書館の耐震補強方法等の検討〈中央〉

## 1 資料の収集・整理・保管

### (1) 収集

「千葉県立図書館資料収集方針」等に基づき、県民の調査研究活動の支援、及び県内市町村立図書館等読書施設（以下「市町村立図書館等」という。）への協力・援助に資する資料を収集するものとし、特に3館が一体となって県立図書館全体の蔵書構築ができるよう、以下の点に留意し収集に努める。

中央図書館では、千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるほか、官公庁刊行物を始め、関係機関や県内の諸団体、個人の自費出版物等の収集・整備に努める。また、県内における児童サービスのセンター館として、児童資料及び児童書研究資料の充実を図るほか、学校支援用の図書を整備する。西部図書館では、自然科学・技術分野の資料を重点的に収集する。東部図書館では、文学・歴史分野の資料を重点的に収集する。

### (2) 整理

資料の発注から廃棄までの整理業務は電算システムを活用して行い、装備は、バーコードラベル、背ラベル、不正持出し防止用の磁気テープ、フィルムコーティング等を施し、資料の保全を図る。

### (3) 資料整備計画 ( )は平成25年2月28日現在【変更あり】

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
購入図書資料	(5,500)冊	(3,050)冊	(6,500)冊	(15,050)冊
寄贈図書資料	(4,100)冊	(1,200)冊	(1,000)冊	(6,300)冊
逐次刊行物(購入)	156タイトル	(336)タイトル	(230)タイトル	(722)タイトル

### (4) 資料の保管

収集資料を継続的・効率的に維持保存・利用するために、蔵書点検（2月18日～25日）を行う。

### (5) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館等の除籍資料を収集・受入し、整備する。

## 2 利用者サービス業務

### (1) 調査相談業務（レファレンスサービス）

#### ア 調査回答

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料、外部データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や市町村立図書館等からの調査相談に対し、的確に回答する。

#### イ レファレンス事例の公開

調査回答事例を国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、県民がホームページで閲覧できるようにする。

#### ウ 千葉県関係の情報検索ツールの充実

千葉県関係の新聞・雑誌記事等の情報検索ツールを作成し、レファレンスサービスの充実に努めるとともに、資料のマイクロフィルム化及びデジタル化を計画的に進めていく。

#### エ 研修会の開催（中央）

市町村立図書館等職員のレファレンス能力の向上のためレファレンス研修会を開催する。

#### オ パスファインダー（調べ案内）、リンク集の作成

県民ニーズを把握し、県民が関心を持つテーマに関する調べ方を紹介するパスファインダーや、調べ物に役立つリンク集を作成する。また、県民がホームページで閲覧できるようにする。

#### カ 商用データベースの積極的導入

多くの県民に効率的に活用されるよう操作方法のガイダンスを実施する。



## (2) 閲覧業務

### ア 資料の館内利用・貸出し

図書及び新聞・雑誌、マイクロ等所蔵資料や、県内外の他の公共図書館及び国立国会図書館、大学図書館等からの相互貸借により、資料の提供や貸出し、複製サービスを行う。

### イ 各種講座の開催

各種講座を実施し、県民の学習機会の拡充に努める。

### ウ 資料の展示

所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、定期的に資料の展示を行うとともに、県民に役立つ課題解決型の企画展示を関係機関の協力を得て年1回以上開催する。

### エ 職場体験・インターンシップの受入

中学生・高校生の職場体験、インターンシップの高校生・大学生を積極的に受け入れ、社会教育活動に貢献する。

## (3) 障害者サービス

障害のある人達が健常者と同じように資料の提供が受けられるように録音図書の貸出し・製作、対面朗読、図書の郵送貸出し等のサービスを行い、障害者用支援ソフトを組み込んだパソコンを対面朗読室内で提供する。

### ア 録音図書の貸出し・製作

希望する録音図書を所蔵資料だけでなく、全国の点字図書館や公共図書館より借り受けて提供したり、所蔵していない場合は自館で製作し貸出しを行う。

### イ 対面朗読

図書館音訳者が対面朗読室で、図書館の資料や持ち込みの本などを朗読する。

### ウ 録音図書のデジタル化

録音テープのデジタル化を推進し、「視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）」への登録や製作した録音図書の配信等、利用者がインターネットで利用できる環境を整備する。

### エ 図書館音訳者の養成

録音図書の製作や対面朗読を行う図書館音訳者を委嘱するとともに、図書館音訳者の技術向上に資するため図書館音訳者養成講座を開催する。

### オ 研修会の開催〈西部〉

市町村立図書館等職員を対象に、公共図書館における障害者サービスの向上を図るため、西部図書館では障害者サービス研修会を開催する。

### カ 障害者のための読書支援機器活用講座等の開催〈中央、西部〉

視覚障害者、盲ろう者、支援者及び市町村立図書館等職員を対象に、拡大読書器、活字を読み上げる機器やデジタル録音図書の再生機器の活用方法を紹介する。

### キ 障害者のための電子書籍活用講座〈中央〉

音声読み上げや拡大表示等、電子書籍の便利な利用方法を解説する。

### ク 障害者のためのサピエ図書館活用講座〈中央〉

インターネットを活用して、録音図書・点字図書オンラインデータベースを体験する。

## (4) 児童サービス〈中央〉

### ア 来館者サービス

資料の貸出しのほか、定例おはなし会（毎週土曜日）や親子で楽しむえほんの会（6回）、冬のおはなし会（1回・12月）、アドベンチャーライブラリー（1回・8月）を開催する。  
また、新規事業として、子育て支援コーナーを設置する。

### イ 市町村立図書館や学校図書館への援助

県内の児童サービスのセンター館として、市町村立図書館等や学校図書館への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行うとともに、県内の子どもの読書活動に関する調査研究を行う。

なお、学校図書館運営の充実や子どもの読書活動の推進については、生涯学習課、指導課及び特別支援教育課と連携して、その方策を検討していく。

ウ 研修会の開催

「児童サービス基礎研修会」を年4回（5、6、7、10月）開催し、市町村立図書館等の児童サービス担当職員の養成に努める。なお、研修内容については、質的充実を図るため、市町村立図書館等及び学校図書館のニーズ調査を踏まえ、検討を進める。

エ 読み聞かせボランティアの養成

「子どもの本の読み聞かせ講座」を2地域で開催（8月・1月）するとともに、市町村立図書館等及び学校図書館が実施する子どもの本の読み聞かせボランティアを養成する講座等に講師を派遣する。

オ 障害者用資料の製作

児童資料の録音図書や点訳絵本を製作する。

講座等実施事業一覧（研修事業は別掲）

\*開催年月日等は予定です。

事業名	中央	西部	東部
書庫見学会	第2金曜日/第4日曜日		図書館ナビ
図書館活用講座	毎週金曜日 (第3金曜日を除く)	ワンポイント図書館活用講座 11月30日(土) 2月15日(土)	毎月第2土曜日 第4日曜日 (2月:第3日曜日)
名作映画鑑賞会			奇数月の第3土曜日
文学講座			未定
サイエンスカフェ		7月上旬 8月10日(土)	
課題解決支援関連			
くらしに役立つ 法律情報講座	5月26日(日) 6月23日(日)		
中高年の再就職 支援セミナー		12月中旬	
消費者自立支援 講座		11月30日(土)	
健康医療情報講座		2月15日(土)	
(仮称)地域づ くり支援講座			10月
その他			未定
図書館まなびトーク		未定	
DAISY編集講座		5月29日(水) 6月5日(水) 6月12日(水)	
図書館音訳者養成講 座	10月29日(火) 11月6日(水)	11月13日(水) 11月20日(水) 11月27日(水)	11月6日(水) 11月13日(水) 11月20日(水)
障害者のための読書支 援機器活用講座	8月20日(火) 8月27日(火)	1月22日(水)	
障害者のためのサピ エ図書館活用講座	11月26日(火)		
障害者のための電子 書籍活用講座	2月4日(火)		
定例おはなし会	毎週土曜日		
親子で楽しむえほん の会	(各金曜日)5月10日、 7月12日、9月13日、 11月8日、1月10日、 3月14日		
冬のおはなし会	12月8日(日)		
アドベンチャーライブラ ー	8月23日(金)		
子どもの本の読み 聞かせ講座	8月9日(金) 1月22日(水)23日(木)		

### 3 協力・援助業務

#### (1) 図書館協力業務

ア 資料の図書館間貸出し

各市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行う。

イ 図書館連絡車・協力車巡回

業者委託により県立3館の間で連絡車を巡回させるとともに、県内の全ての市町村立図書館等に対し、週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館等の相互貸借資料を搬送する。

#### 【連絡車・協力車巡回コース】

##### 《県立間連絡車巡回コース》

曜日	図書館名
火・木曜日	県立中央 → 県立東部 → 県立西部 → 県立中央 → 県立東部

##### 《中央図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	火曜日 金曜日
巡回施設	館山市図書館 南房総市図書館 鴨川市立図書館 勝浦市立図書館 御宿町公民館 いすみ市大原公民館 大多喜町立図書館天賞文庫 睦沢町中央公民館 一宮町まちの図書室	鋸南町立中央公民館 富津市移動図書館 君津市立中央図書館 木更津市立図書館 袖ヶ浦市立中央図書館 市原市立中央図書館 長柄町中央公民館 長南町中央公民館 長生村文化会館 白子町青少年センター 茂原市立図書館	ふれあいプラザさかえ 成田市立図書館 富里市立図書館 八街市立図書館 酒々井町立図書館 佐倉市立佐倉南図書館 四街道市立図書館 千葉県教育振興財団 八千代市立大和田図書館 習志野市立大久保図書館 千葉県立保健医療大学 千葉大学附属図書館本館 千葉大学附属図書館亥鼻分館	千葉市

##### 《西部図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	金曜日	木曜日	金曜日
巡回施設	千葉大学附属図書館松戸分館 松戸市立図書館 千葉県立流山南高等学校 流山市立中央図書館 千葉県立流山はねたかの森高等学校 野田市立興風図書館 野田看護専門学校 さわやかちば県民プラザ 千葉県立流山高等学校 千葉県立東葛飾高等学校 柏市立図書館 我孫子市民図書館 千葉県立沼南高等学校 千葉県立沼南高柳高等学校 千葉県立松戸六実高等学校 千葉県立柏陵高等学校 千葉県立松戸国際高等学校	印西市立大森図書館 白井市立図書館 千葉県立白井高等学校 鎌ヶ谷市立図書館 千葉県立鎌ヶ谷高等学校 船橋市北図書館 市川市中央図書館 浦安市立中央図書館 千葉県立浦安南高等学校 千葉県立市川南高等学校	千葉県立松戸高等学校 千葉県立松戸馬橋高等学校 千葉県立小金高等学校 流通経済大学付属柏高等学校 柏市立柏高等学校 千葉県立柏高等学校 千葉県立柏中央高等学校 麗澤中学・高等学校 千葉県立柏南高等学校 芝浦工業大学柏高等学校 千葉県立船橋北高等学校 千葉県立船橋豊富高等学校 千葉県立船橋古和釜高等学校 千葉県立薬園台高等学校 船橋市立船橋高等学校 千葉県立船橋啓明高等学校 千葉県立船橋法典高等学校 千葉県立市川東高等学校 昭和学院高等学校 千葉県立市川工業高等学校	松戸市

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	金曜日	木曜日	金曜日
			千葉県立国府台高等学校 千葉県商科大学附属高等学校 千葉県立松戸向陽高等学校	

《 東部図書館協力車巡回コース 》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	随時
巡回施設	匝瑳市立八日市場図書館 千葉県立匝瑳高等学校 横芝光町立図書館 芝山町中央公民館 多古町コミュニティプラザ図書館 千葉県立多古高等学校 神崎ふれあいプラザ 千葉県立佐原白楊高等学校 香取市立佐原中央図書館 千葉県立佐原高等学校	銚子市立銚子高等学校 千葉県立銚子商業高等学校 千葉科学大学 銚子市公正図書館 東庄町図書館 千葉県立小見川高等学校 千葉県立東総工業高等学校 旭市図書館	九十九里町中央公民館 大網白里市図書室 千葉県立東金高等学校 東金市立東金図書館 城西国際大学 千葉県立成東高等学校 山武市さんぶの森図書館 千葉県立松尾高等学校	千葉県立旭農業高等学校

ウ 協力レファレンス

市町村立図書館等からの所蔵調査・資料調査・事項調査等の調査・相談等に対し、外部データベースや図書館資料を使って援助を行う。

エ 高等学校・大学・類縁機関等との連携

県内の類縁機関や大学、高等学校等と連携し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行う。  
資料搬送方法：協力車（西部・東部）、宅配便（中央）

オ 担当者会議の開催

市町村立図書館等の相互協力担当職員を対象に、相互協力の円滑な推進を図るための会議を開催する。

(2) 研修事業

市町村立図書館等職員のスキルアップのための研修会を開催する（後掲「研修業務」参照）。

(3) 図書館運営相談

図書館の管理・運営やサービスの内容に関する質問を市町村立図書館等から受け付け、あるいは定期的に施設訪問し、図書館運営相談等に応じる。また、状況に応じて調査を行う。

(4) 図書館未設置市町村援助

図書館未設置市町村の公民館図書室など読書施設に対し、資料の貸出しや協力レファレンス、運営相談等の援助を行う。

(5) その他

ア 行政支援

県民生活の維持向上等に係る施策を企画・立案している県庁各課等へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行う。

イ 新聞・雑誌総合目録の整備

市町村立図書館等や文書館行政資料室、県立保健医療大学図書館、さわやからば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を毎年更新してホームページ上で公開する。

ウ 読書活動援助

県内の読書活動を推進するため、読書グループ関係団体への支援協力を行う。また、読書会用テキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫の整備を進める。

エ 資料の巡回展示（東部）

東部地域の市町村立図書館等と連携し、東部図書館で実施した資料展示の巡回展示を行う。

## 4 広報・啓発業務

県立図書館の機能・役割を県民に広く周知するために、「要覧」、「図書館報」「利用案内」、掲示等による広報、ホームページでの情報発信とともに、次の事業を行う。

### (1) 読書週間関連業務

- ア 図書リスト、パスファインダーの作成・配布
- イ 読書普及のための資料展示

### (2) こども読書週間関連業務

- ア こども読書の日記念展示会の開催
- イ 児童資料室の展示の充実〈中央〉
- ウ 親子で楽しむえほんの会〈中央〉

### (3) その他

- ア 県立図書館ホームページの充実
- イ 企画展示の開催
- ウ 千葉県資料の県民向け広報の実施〈中央〉
- エ ラジオ放送や広報誌等による資料・事業紹介〈中央〉

## 5 研修業務

市町村立図書館等職員の資質向上を図るため各種研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努める。

### 【中央図書館】

\*開催年月日等は予定です。

事業名	月 日	会 場	参加予定数	備考
公共図書館新任職員研修会	5月15日(水)	中央図書館講堂	70人	
公共図書館中堅職員研修会	10月11日(金)	〃	30人	
図書館長研究協議会	11月1日(金)	〃	45人	
児童サービス基礎研修会 第1回	5月30日(木)	〃	40人	
第2回	6月13日(木)	〃	40人	
第3回	7月4日(木)	〃	40人	
第4回	10月3日(木)	〃	40人	
地域行政資料研修会	7月3日(水)	〃	25人	
レファレンス研修会 (レファレンスサービス基礎研修)	6月21日(金)	〃	40人	
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	12月5日(木)	〃	40人	
課題解決支援サービス研修会	未定	〃	40人	
図書館音訳者養成講座	10月29日(火) 11月6日(水)	〃 〃	30人	
障害者のための読書支援機器活用講座	8月20日(火) 8月27日(火)	〃 〃	20人	
障害者のためのサピエ図書館活用講座	11月26日(火)	〃	10人	
障害者のための電子書籍活用講座	2月4日(火)	〃	10人	

【西部図書館】

\*開催年月日等は予定です。

事業名	月 日	会 場	参加予定数	備考
障害者サービス研修会	6月19日(水)	西部図書館研修室	30人	
課題解決支援サービス研修会	7月12日(金)	〃	30人	
	10月上旬	〃	30人	
図書館音訳者養成講座(中級)	11月13日(水)	〃	30人	
	11月20日(水)	〃		
	11月27日(水)	〃		
障害者のための読書支援機器活用講座	1月22日(水)	〃	20人	

【東部図書館】

\*開催年月日等は予定です。

事業名	月 日	会 場	参加予定数	備考
課題解決支援サービス研修会	未定	東部図書館研修室	30人	
読書施設担当職員・学校図書館職員のための資料検索研修会	7月	東部図書館会議室	15人	
図書館音訳者養成講座	11月6日(水)	〃	25人	
	11月13日(水)	〃		
	11月20日(水)	〃		

## 6 電算業務

### (1) 業務系システム

平成24年11月に、システムを一新し、更に機能を充実させた「千葉県立図書館情報システム」の維持をしながら、更に充実するよう検討していく。

### (2) インターネット系システム

「千葉県立図書館ホームページ」(<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>)については、更に利用しやすく、利便性が高まるよう検討、整備していく。